



福山市立大成館中学校
大中だより

2017(平成29)年
6月13日
No. 5
校長 小寺和宏

平成29年度福山地区総体終える！

6月10日(土)に本校生徒が出場する競技(福山地区総体)の日程をすべて終えました。
この大会は中体連の大会の中で唯一全国大会につながる大会であると同時に、3年生にとっては中学校生活最後の大会でした。

6月1日(木)の福山地区総体壮行会で選手のみなさんに、次のような話をしました。
「大会に臨むにあたり『勝つ』ことにこだわり、日頃の練習の成果をいかに発揮してください。『勝つ』ことにこだわると、その先に『勝つ』ことよりもっと大切な、共にたたかう仲間との『絆』の大切さが見えてくるはず。『勝つ』ことは大切ですが、しかし、それ以上に大切なものが共にたたかう仲間との『絆』です」という話でした。

地区総体では、自分や仲間のミスで負けることもあったと思います。
しかし、一緒に汗を流し、共に練習をしてきた仲間は生涯の宝です。
試合に勝っても、負けても、ここまで一緒に頑張れた仲間に対する感謝の気持ちを忘れないでください。
7月の県選手権に出場する選手の皆さんは、大中の名誉と誇りを胸に頑張ってください。同時に、惜しくも出場を逃した部活の皆さんは、次の大会に向けて気持ちを切り替え、負けた悔しさをバネに日頃の練習の質を高めましょう。人が見ていないところで、どれだけ一生懸命に頑張れるかが大切です。

大リーグで活躍するイチロー選手が日米 4000 本安打(ヒット)を記録した時のインタビューで「4000 本安打はうれしいが、それ以上に 8000 本以上の凡打(アウト)と真剣に向き合えたからこそ、今の 4000 本安打があることを考えると、8000 本以上の凡打にめげず日々自分自身の弱さと向き合えたことを誇りに思う」と言っています。

勝つこともあれば、負けることもある。負けた時にこそ人の真価が問われるということです。

話しは変わりますが、校長先生は地区総体の間、会場責任者になっていたので全ての部活の応援をすることはできませんでしたが、サッカーの決勝戦を応援に行ったとき、明らかに大成館中学校ではない体操服を着た10名前後の中学生が大成館中学校サッカー部を必死に応援してくれていました。

不思議に思っていると、まわりの方から、「大成館中学校を応援している他校の選手は、この地区総体で大成館中学校に負けた学校の選手で、自分達の方も頑張ってもらい、是非とも大成館中学校に優勝してもらいたいという思いで応援しています」という話を聞いて、胸が熱くなりました。

最後に、大中サッカー部は準決勝・決勝戦ともに逆転して勝ちました。負けていても最後まであきらめない気迫が観ている私達にも伝わってきました。まさに一生懸命はブラボー！一生懸命はカッコいい！です。「咲き誇れ大中魂」を具現化してくれました。

県選手権に出場する部活

- サッカ一部 優勝
- 陸上部 男子総合2位 男女総合5位

個人	男子 100m	男子 200m	男子 400m(大会新記録 52 秒 68)
	男子 1500m	男子 3000m	女子 800m
- 男子・女子バレー部 3位
- 女子テニス部 団体8位 個人2ペア
- 男子テニス部 個人1ペア
- 女子卓球部 個人
- 柔道 個人 男子1名 女子1名

(裏面に続く)

平成 29 年度地区総体写真集(すべての部活を紹介することができず申し訳ありません)



地区総体優勝！記念撮影(サッカー)



勝因は仲間との絆です！(サッカー)



準優勝校を5対3まで追い詰めました！(野球)



最後まであきらめない大中魂を見せてくれました！(男バス)



日頃の練習の成果をいかに発揮しました！(女子バレー)



大接戦で特大ホームランも飛び出しました！(ソフト)



大中を応援してくれた他校の生徒に大中サッカー部員がお礼の挨拶をしています。胸が熱くなるシーンです。



見事な審判をされた長友先生です！(男バス)
かるやかなステップ！